

らじまでも口の中を健康に「8020運動」

6月4日から10日までは、「歯と口の健康週間」です。平成25年度「歯と口の健康週間」の標語は「健康は食から 歯から 元氣から」です。皆さんも歯科疾患の予防や歯と口の健康について、考えてみませんか。

●80歳になっても自分の歯を20本以上保とう

日本歯科医師会では、日頃の歯科診療だけでなく「いつまでもおいしく、そして、楽しく食事を取るために、口の中の健康を保ってもらいたい」という願いを込めて、厚生労働省とともに平成元年から「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という「8020運動」を積極的に推進しています。

楽しく充実した食生活を送り続けるためには、妊産婦を含めて生まれてから亡くなるまでの全てのライフステージ（人間の一生における各段階）で、健康な歯を保つことが大切です。

●「8020」達成者を表彰

瀬戸内歯科医師会では、平成24年11月に実施した「せとうち保健福祉フェスタ2012」で「8020」達成者の皆さんを表彰しました。「8020」達成者の皆さんは、とてもお元氣でした。大会前に実施したアンケート調査では、歯を健康に保つことが体全体の健康につながるなどの回答もありました。皆さんもぜひ「8020」を目指してはいかがでしょうか。

●いい歯のポスターコンクール

また、瀬戸内歯科医師会では、市内の小学生を対象に、歯の衛生に関する正しい知識を広め、関心を深めてもらうため「いい歯のポスターコンクール」を行いました。

総数452点の応募作品について、厳正な審査を行い、それぞれ金・銀・銅賞の合計



いい歯のポスターコンクールの入賞作品（一部）

32人の入賞者を決定しました（左表参照）。

作品はどれも力作揃いで、最終決定のための審査には、時間を要しました。

この入賞作品は「せとうち保健福祉フェスタ2012」の会場（ゆめトピア長船）で展示した後、2月21日から27日まで瀬戸内市立美術館で展示しました。

平成25年度も、11月に開催

金賞（6人）	牛窓東、邑久（2人）、玉津、裳掛、行幸
銀賞（9人）	牛窓東（4人）、邑久、裳掛、行幸（3人）
銅賞（17人）	牛窓東、牛窓西、牛窓北、邑久（5人）、今城（2人）、玉津、裳掛、美和、国府（2人）、行幸（2人）

小学校別受賞状況



歯科無料相談

が計画されている「せとうち保健福祉フェスタ2013」の中で「8020達成者表彰」「いい歯のポスターコンクール」「歯科無料相談」を行う予定です。

なお「8020達成者表彰」は、かかりつけの歯科医院から案内します。

また「いい歯のポスターコンクール」は、小学校から案内する予定です。



巻の百

文化財の宝庫 瀬戸内市

瀬戸内市は文化財の宝庫です。市内には、仏像など信仰の対象や、焼物を焼いた窯跡など生産の跡を伝える史跡、現在に技術などを伝える無形文化財など、多くの文化財が伝えられています。

岡山県内で3番目!?

市内に所在する文化財のう



△色々威甲冑

岡山県全体では千人当たり約0.36件、平方キロ当たり約0.099件となります。瀬戸内市では千人当

ち、国が指定する重要文化財は19件、岡山県が指定する文化財は34件です。これらを合わせると53件となり、岡山市（181件）、倉敷市（76件）に次いで、県下3番目となります。ここで、人口や面積をあわせて分析してみると興味深いことが分かります。国・県指定文化財は、岡山県全体では千人当たり約0.36件、平方キロ当たり約0.099件となります。瀬戸内市では千人当

たり約1.36件、平方キロ当たり約0.422件となり、人口や面積当たりの文化財の件数が、際立って多い地域であることが分かります。（下表参照）

国指定の重要文化財

史跡では、弥生時代の人々が食べた後の貝殻や生活した跡を残す門田貝塚（邑久町尾張）、古代に奈良の都へ送る須恵器を焼いた窯の跡が残る寒風古窯跡群（牛窓町長浜）、江戸時代に朝鮮の友好使節を接待した地である朝鮮通信使遺跡（本蓮寺境内等）があります。

建造物では、本蓮寺（牛窓町牛窓）の本堂、中門、番神堂、餘慶寺（邑久町北島）の本堂があり、古いものでは500年以上前に建てられています。いずれも中世の様式

	国指定(件)	県指定(件)	合計(件)	人口(千人)	件数/人口(千人)	面積(km ²)	件数/面積(km ²)
岡山県	246	458	704	1,930	0.36	7113.2	0.099
岡山市	84	97	181	713	0.25	789.9	0.229
倉敷市	32	44	76	482	0.16	354.7	0.214
瀬戸内市	19	34	53	39	1.36	125.5	0.422
津山市	18	28	46	105	0.44	506.4	0.091
備前市	14	23	37	38	0.97	258.2	0.143

国・県指定文化財件数比較表（数値は各自治体のホームページによる、登録文化財は含まず、人口は概数）

や技術を伝える貴重な建造物として、高く評価されています。彫刻では、阿弥陀如来立像（遍（東寿院）、五智如来坐像（遍明院）、薬師如来坐像（餘慶寺）、聖観音立像（同）、千手観音立像（大賀島寺）があります。

古いものは平安時代の初めごろ、つまり1,100年く

らい前に作られた仏像です。ほかにも工芸品では、大雑刀銘盛光、彩色菊牡丹透華鬘、藍韋威肩白腹巻、色々威甲冑があり、絵画では、仏涅槃図、阿弥陀二十五菩薩来迎図、中不動三十六童子左右両界曼荼羅があります。

豊かな歴史と文化

これらの文化財は、瀬戸内市が、古くから多くの人が居住し、高い生産性を維持し、豊かな精神生活を送ってきた地域であることの証と言えるでしょう。文化財を伝える由緒のある古い寺院・神社が多いのも、瀬戸内市の特徴です。何百年と伝えられてきた文化財には、それらを大切に守り、維持し、次世代に伝えてきた先輩たちの思いも込められています。

なお、市内の指定文化財については、市のホームページの中で「瀬戸内市の歴史と文化」として紹介しています。

HP <http://www.city.setouchi.lg.jp/history/index.html>